

観光地魅力度調査報告書

令和2年8～9月

～湯村温泉版～



公益社団法人ひょうご観光本部
Hyogo Tourism Bureau



調査目的	観光地にて旅行者の動機や周遊ルート、観光費用等の顧客データを収集、地域ごとの訪問客の属性等の傾向を分析し、地域における観光商品やサービスに対する評価を踏まえ、今後の対策に活かすことを目的とする。
調査地域	湯村温泉
調査対象者	調査地域を訪れた観光客、宿泊客
サンプル数	294
調査手法	QRコードを媒介としたインターネット調査
調査期間	2020年8月～2020年9月

《居住地》

- ・観光客・宿泊客のうち、県外からの訪問者は約3割と少なく、近隣府県へのアプローチなどにより県外からの誘客を拡大できる可能性がある。

《同行者》

- ・家族旅行が約半数を占め、主要な客層となっている。

《旅行目的》

- ・温泉が大きな強みとなっている一方、スポーツ・レジャー体験、文化体験はほとんど旅行目的となっていない。家族向けの体験型コンテンツの開発は誘客につながる可能性がある。

《リピート率・消費額》

- ・1万円以上2万円未満の割合が約4割を占め、年代では30代から50代が、リピート率では3回目以上がボリュームゾーンとなっている。

《周遊》

- ・周遊先としては、鳥取県と城崎温泉が約4割を占める。鳥取県、城崎温泉、湯村温泉をつなぐ周遊コースの開発などが課題と考えられる。

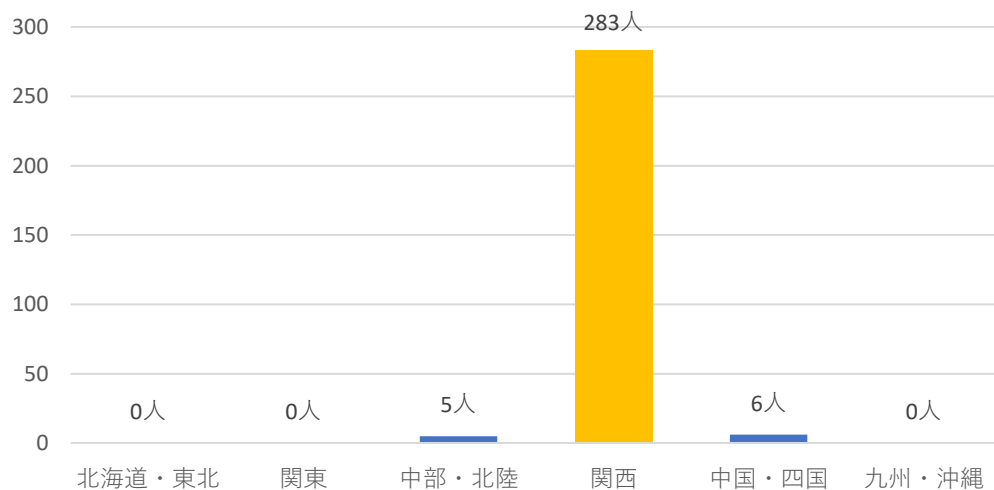
回答者属性

居住地



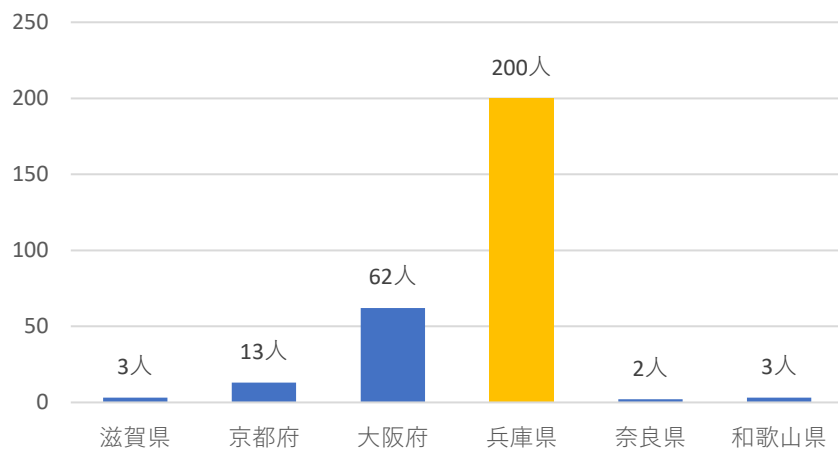
居住地

N=294



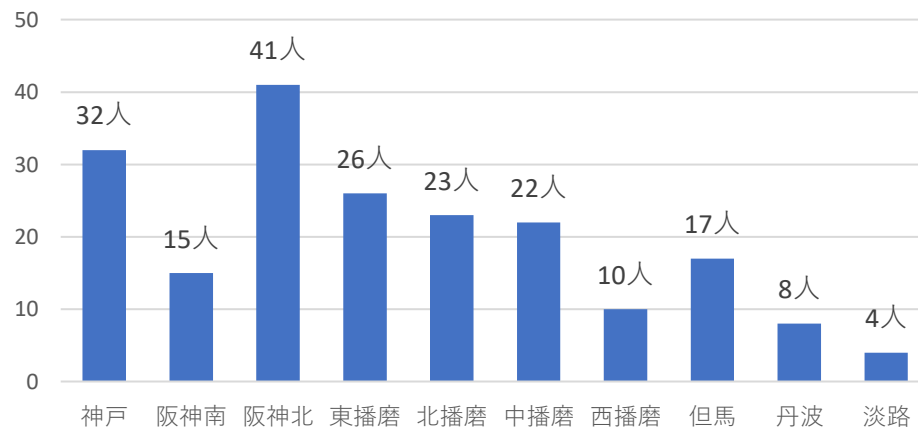
居住地（うち関西）

N=283



居住地（関西のうち兵庫県内）

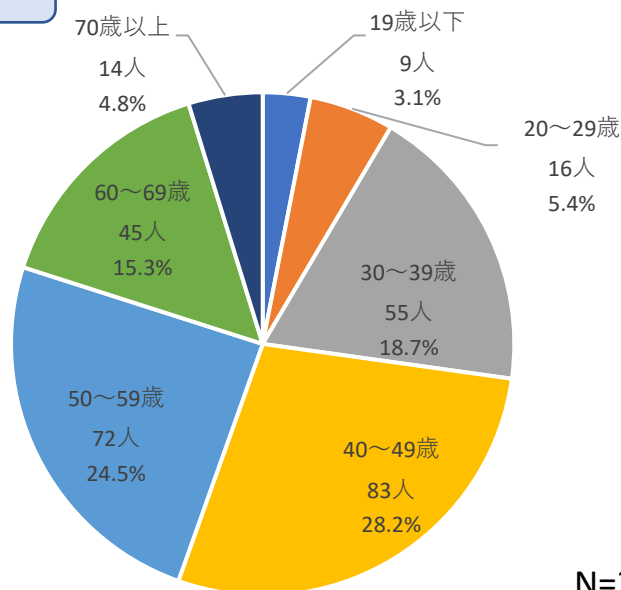
N=198 ※不明：2



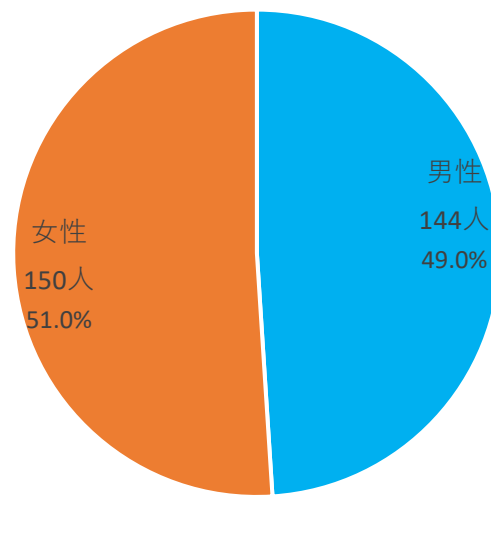
年齢・性別



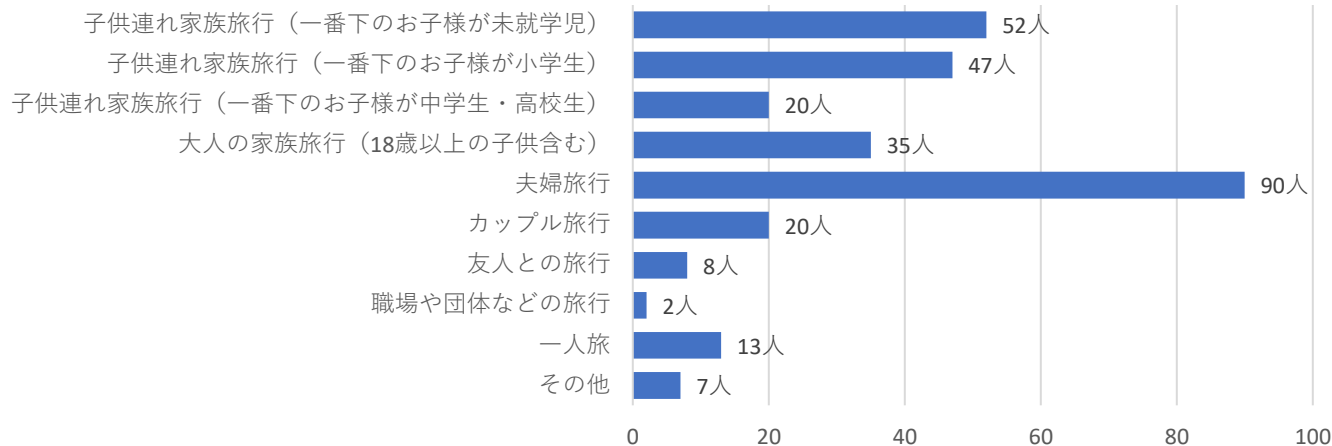
年齢



性別



同行者

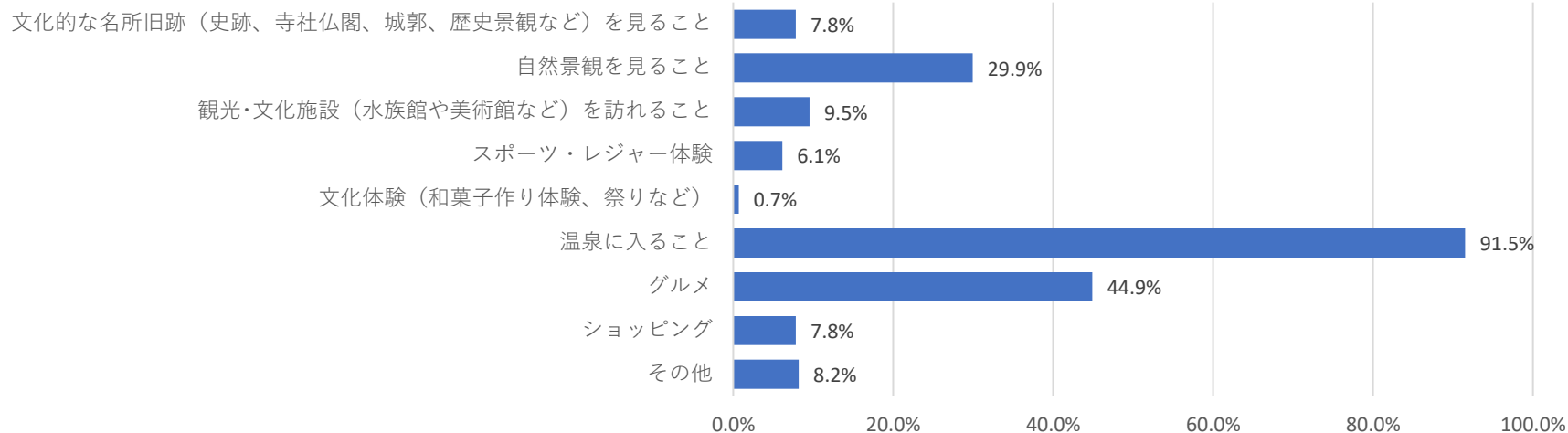


調查結果

旅行目的・体験したコンテンツ

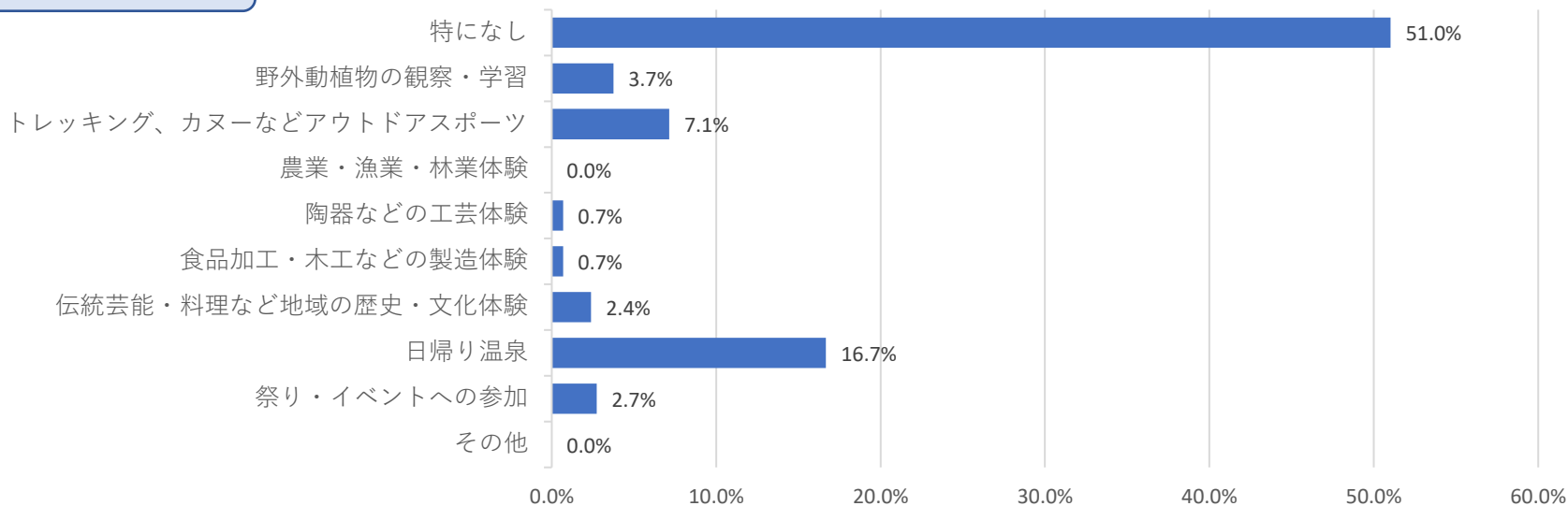


旅行目的



N=294

体験したコンテンツ

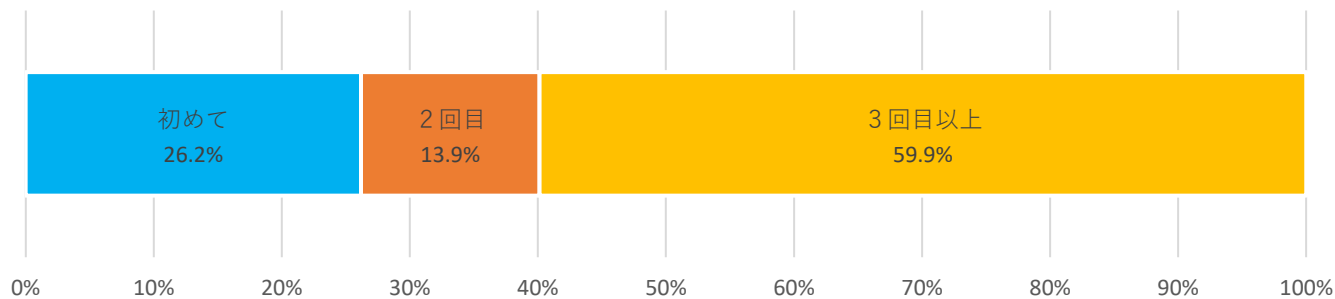


N=294

リピート率・消費額①

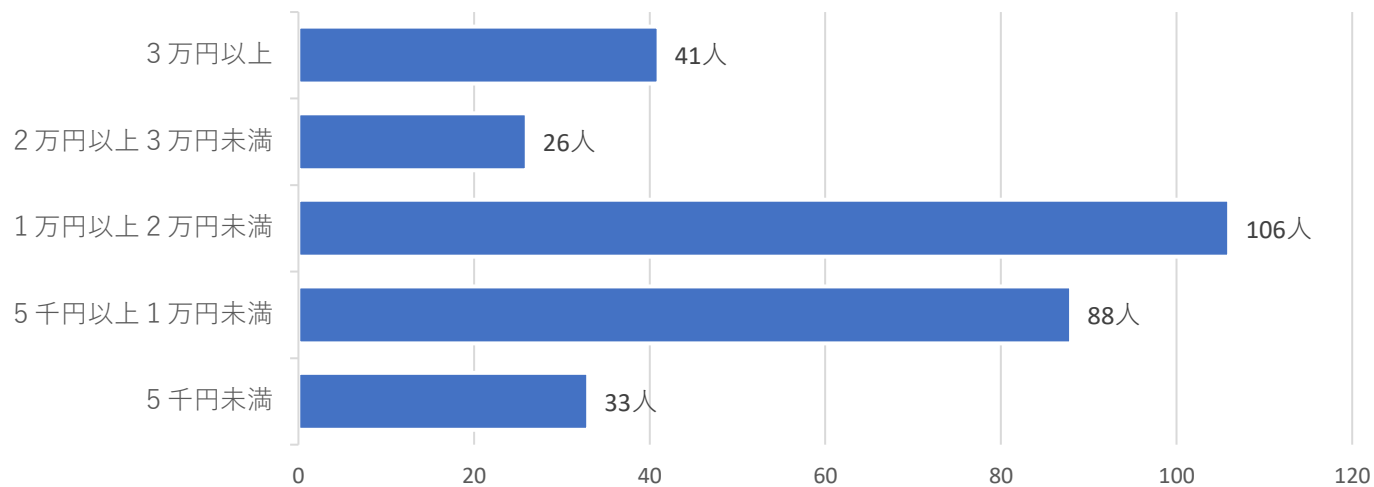


リピート率



N=294

地域内での消費額

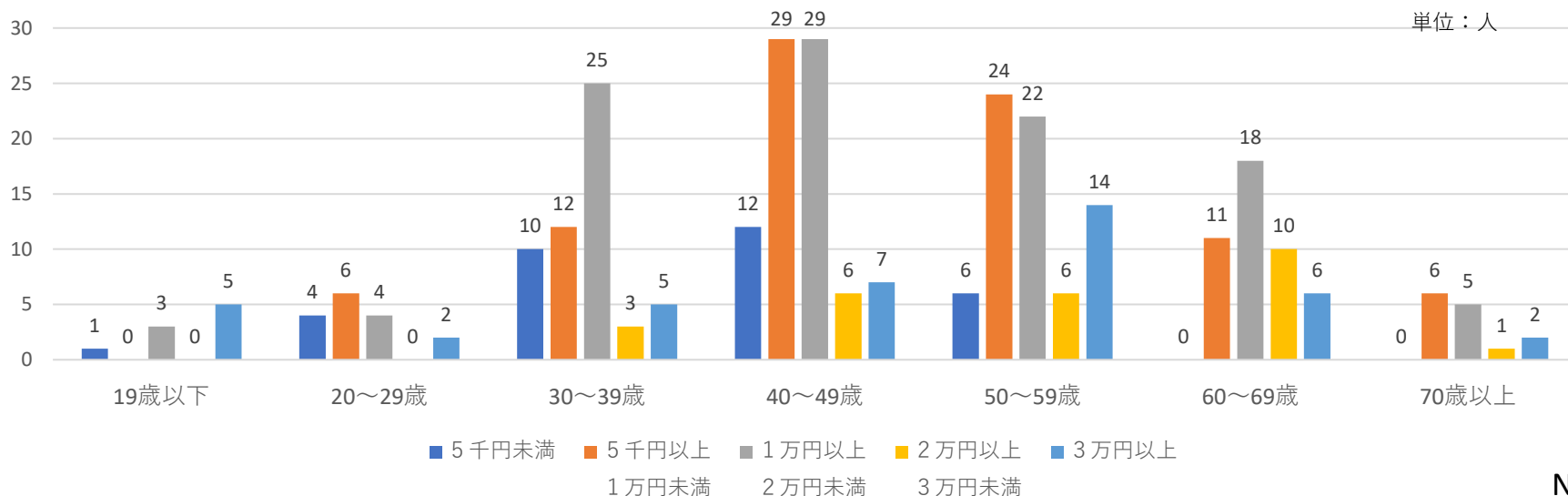


N=294

リピート率・消費額②

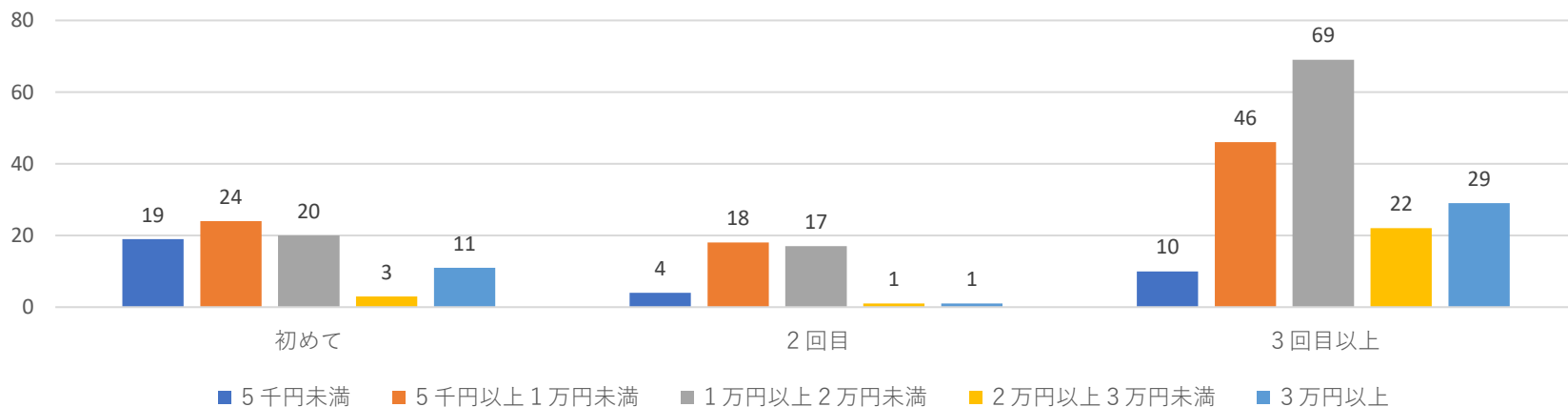


消費額×年代



N=294

消費額×リピート率



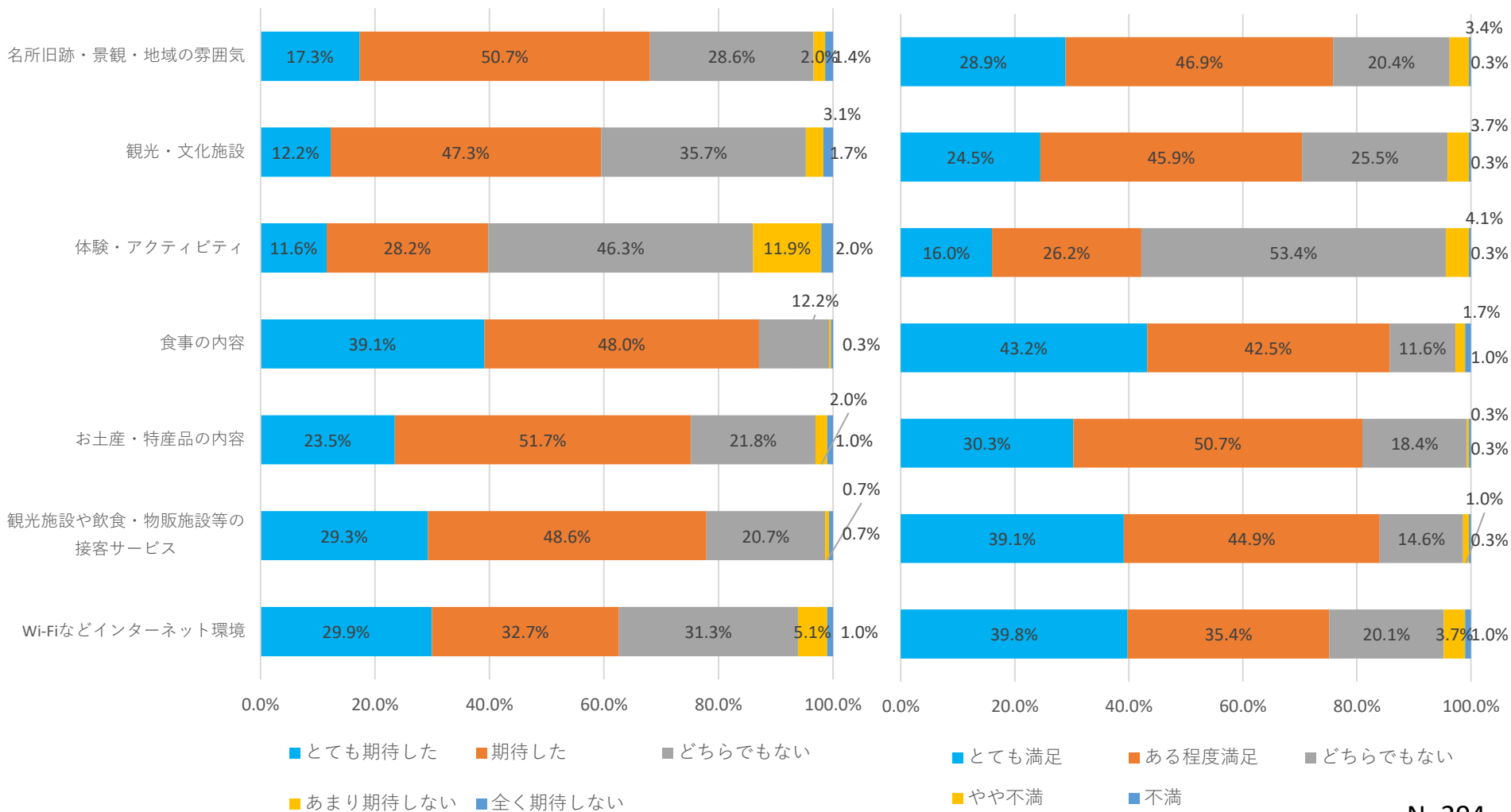
N=294

地域への期待度・地域の満足度



期待度

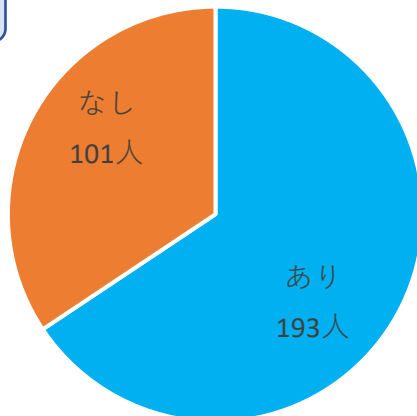
満足度



周遊の有無・周遊先

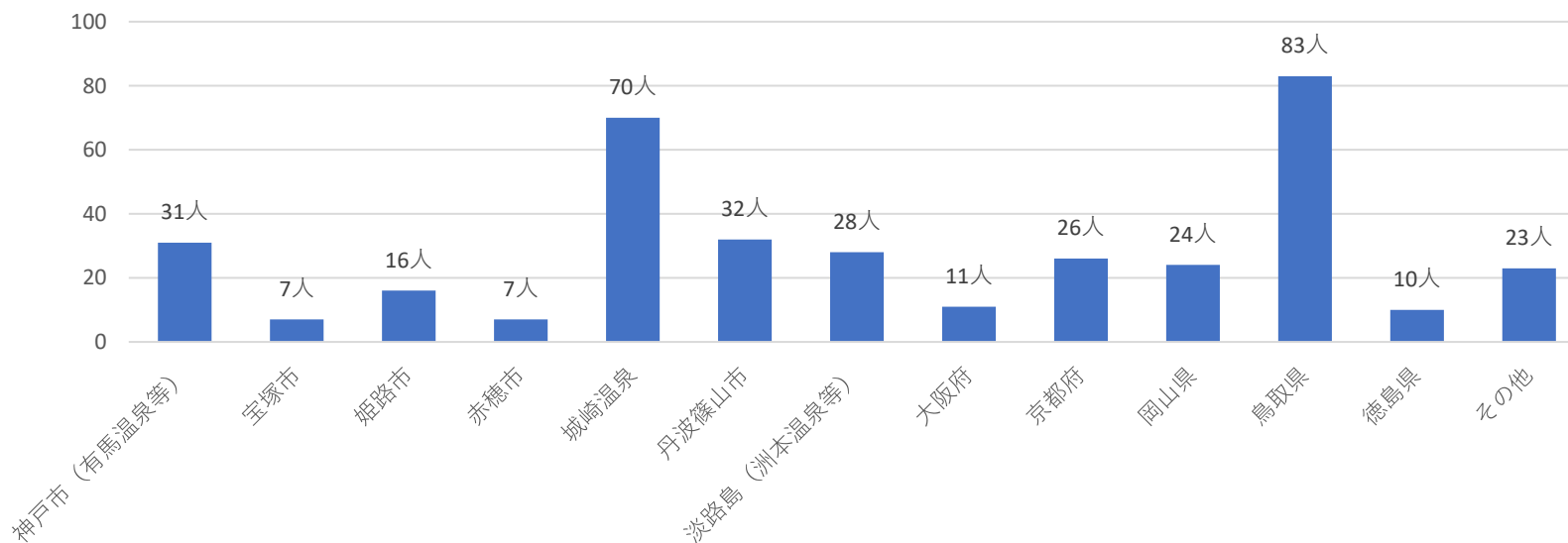


周遊の有無



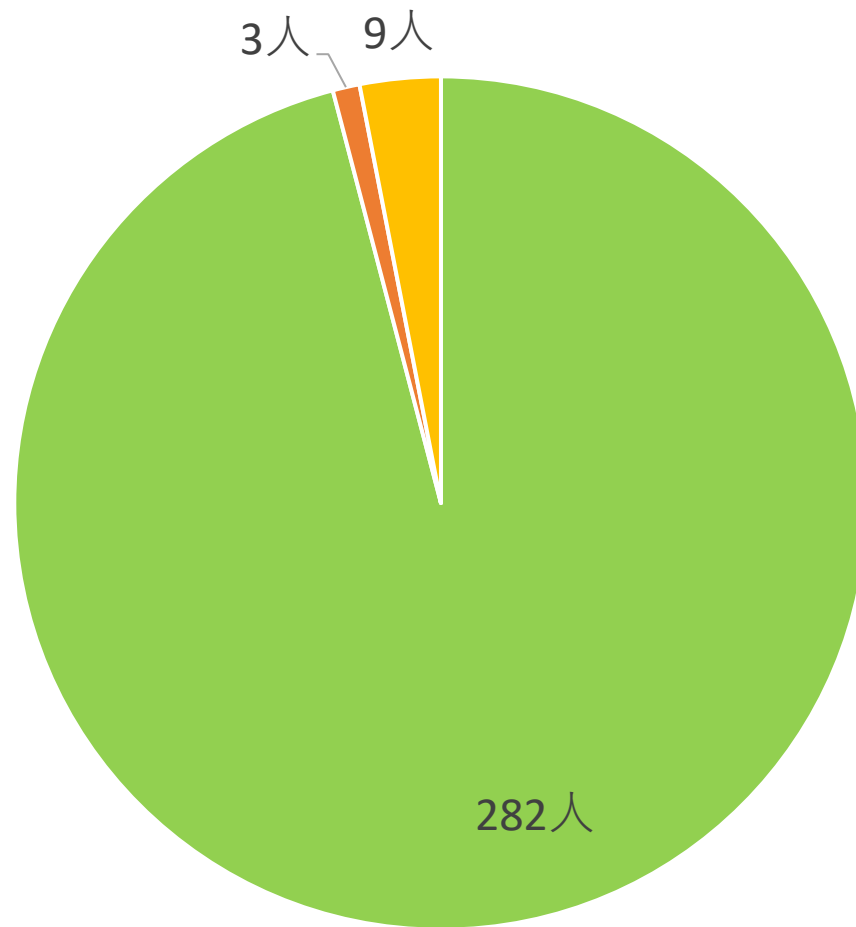
N=294

周遊先



N=368

宿泊の有無



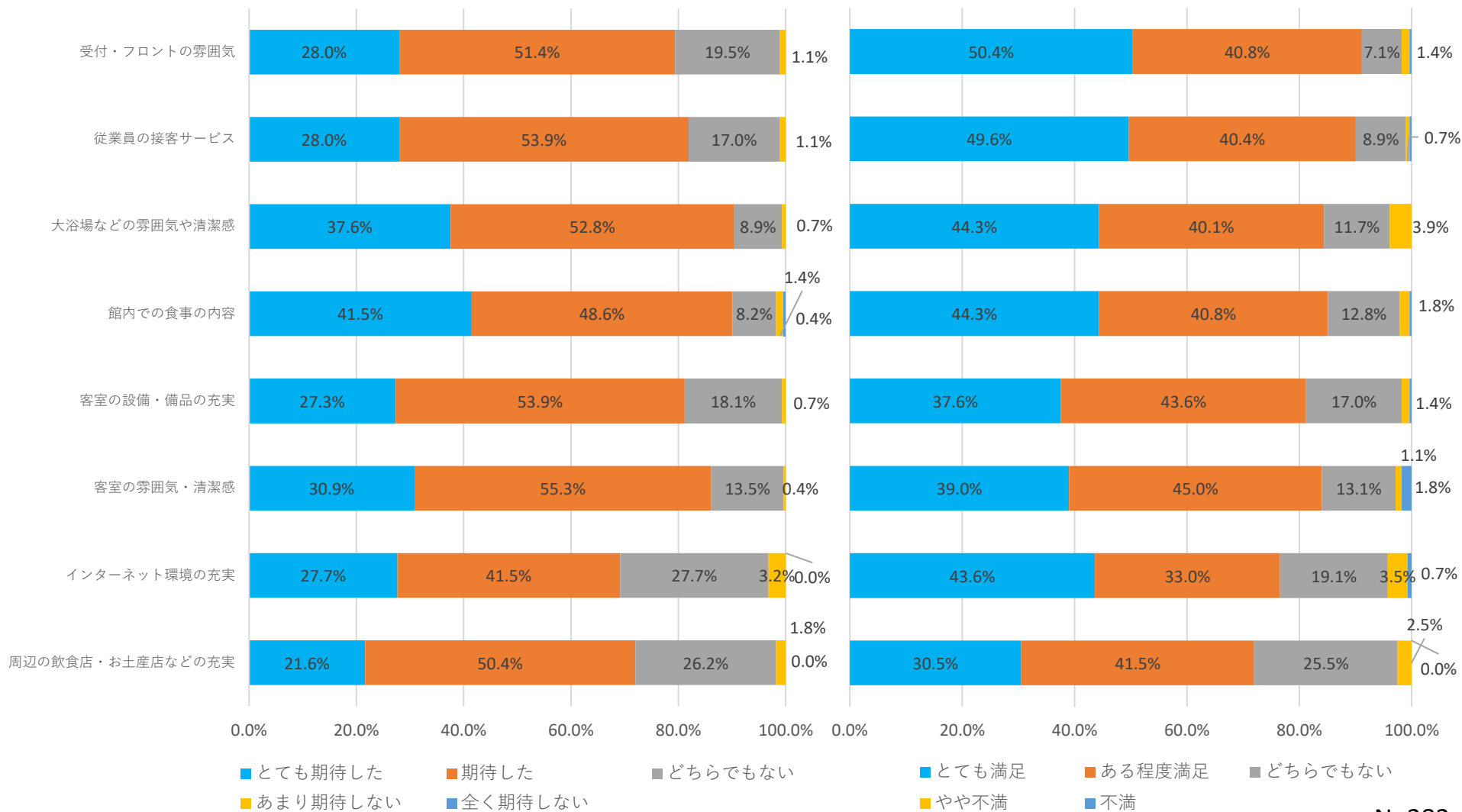
- 宿泊あり（湯村温泉地域内での宿泊を含む）
- 宿泊あり（湯村温泉地域内では宿泊しない）
- 宿泊なし（日帰り旅行）

宿泊施設への期待度・宿泊施設の満足度



期待度

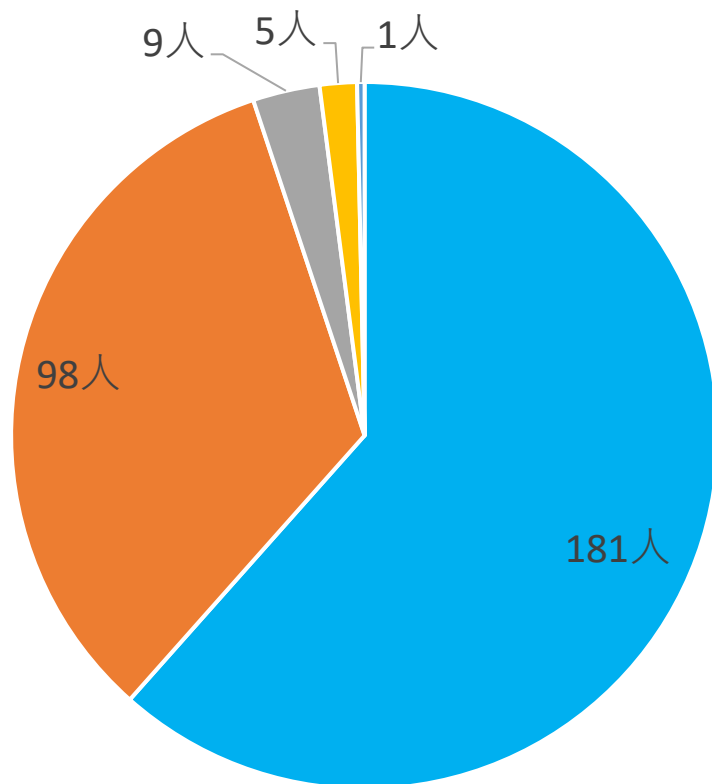
満足度



再訪意向



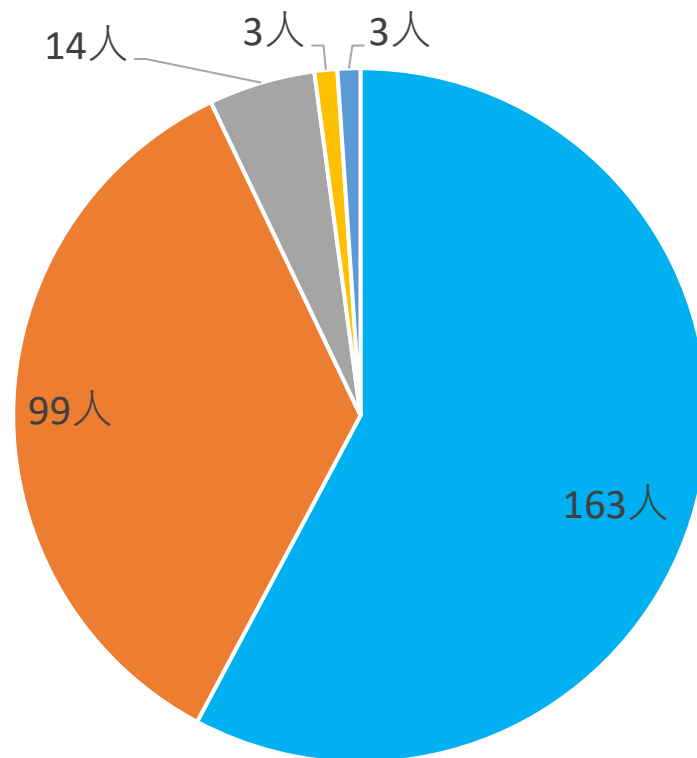
地域への再訪意向



- ぜひまた訪ねたい
- 機会があれば訪ねたい
- どちらでもない
- あまり訪ねようとは思わない
- 訪ねたくない

N=294

宿泊施設への再訪意向



- ぜひ利用したい
- 機会があれば利用したい
- どちらでもない
- あまり利用しようとは思わない
- 利用しない

N=282